

わたし達、地域おこし協力隊は
町の地域活性化を図るため、頑張ります

地域おこし協力隊。

～ 地域力の創造・地方の再生 ～



◎青葉の瀬 (山都町緑川)

農林業の応援、町民の生活支援など
幅広く活動しています



地域おこし協力隊って？

地域おこし協力隊は平成21

年に、人口減少や高齢化が進む地方へ、都市部から移住・定住の促進と、地域の活性化を図るため総務省が始めた施策です。

一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・PR等の地域おこしの支援、農林水産業への従事、住民の生活支援など「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。

全国に約5,400人いる協力隊員のうち、約7割は20代から30代と若い隊員が多く、任期終了後も約6割が活動した地域に定住しています。

熊本県内でも今年3月末時点で137人の協力隊員が活動しています。

山都町では8月末時点では9名の協力隊が活動を行い、地域交流施設を活用したカフェの運営や、農産物のブランド化、観光振興の分野で、地域の活性化等に貢献してこられました。

なお、退任した5名中4名は町内に定住されました。

地域おこし協力隊の活動内容等について町民の皆さまにも知っていただきたいと思い、8月23日、4名の現役の協力隊員にインタビューを行いました。

(このインタビューを行った後、9月1日に清和高原天文台に新たに女性の地域おこし協力隊員1名が就任しました。)

山都町では地域おこし協力隊を5名募集しています！

都市部にお住まいで、山都町に移住を検討されており、地域の活性化や物産館の運営支援、観光振興等に興味・関心がある親戚や知人の方がいらっしゃいましたら、ぜひ、応募を勧めてみてください。

なお詳細については、町ホームページ等に掲載してしている「山都町地域おこし協力隊募集要項」をご確認ください。

右のQRコードをスマートフォン等で読み込むとページに行けます。

